

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業		
事務事業名		大阪河内長野線(八下地区)			シート番号		
19-52		担当部署名			根兵		
建設		局		道路		部	
道路計画		課		評価責任者(課長名)		根兵	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	本路線は、市の東部地域を南北に貫き、大阪市及び大阪狭山市に接続する重要な幹線路線である。この路線が未整備であることから、並行する国道309号や府道大阪狭山線の慢性的な渋滞が発生している。また、地域の防災上の避難路として、安全・防災等に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	府道大阪狭山線は十分な歩行者空間が確保されておらず、自動車交通も混雑している状況であることから、この課題を早期に解消するため、特に渋滞が多発している野遠石原町交差点南側において道路拡幅を実施するものである。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定:昭和45年8月17日 事業認可:平成28年3月29日～令和3年3月31日 事業区間:東区八下町 路線延長:L=220m 道路幅員:W=35m 車線数:4車線 平成30年度は、用地取得に必要な用地測量並びに支障物件調査を実施。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

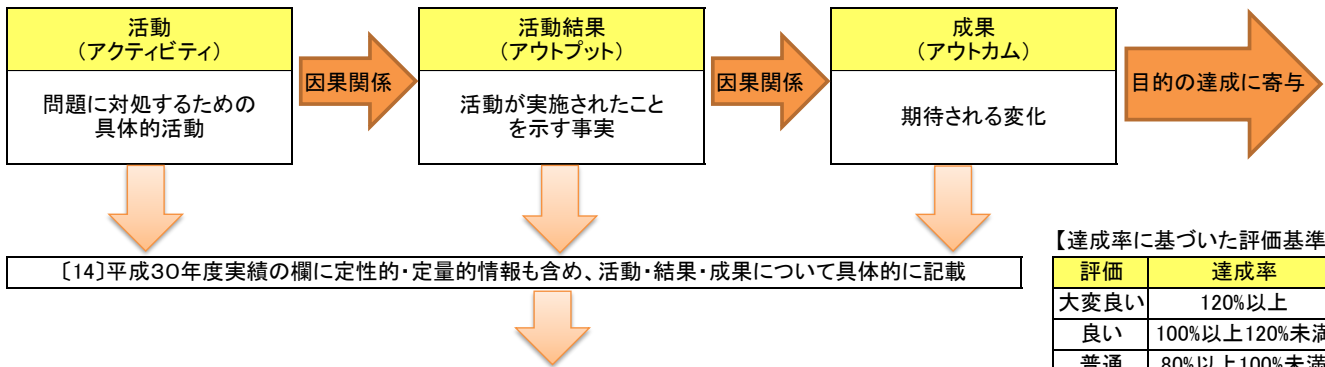
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	2,533	6,019	14,575	66,289	
主な事業費内訳	工事費	千円	316	1,329	260	255
	用地費	千円		3,330	5,796	
	委託費他	千円	2,217	1,360	8,519	66,034
		千円				
	国・府支出金	千円		1,815	2,500	31,000
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円		1,300	2,200	29,400
	その他()	千円				
一般財源	千円	2,533	2,904	9,875	5,889	
12 人件費 (b)	千円	6,320	5,206	6,586	6,296	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,853	11,225	21,161	72,585	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	大阪河内長野線(八下地区)	シート番号	19-52
-------	---------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績					
活動実績と成果	14	平成27年度から着手している大阪河内長野線(八下地区)事業について、平成30年度は用地取得に必要な用地測量並びに支障物件調査を実施し事業を推進した。 [事業進捗] (用地取得状況) ○土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得ができた。 ・用地取得率: 34%					
	15	目標					
		用地取得の実施					
		目標に対する実績	土地所有者との交渉により用地取得。				
16		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		算出方法・設定根拠など					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) ○土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得に必要な用地測量並びに支障物件調査を実施することができた。
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。